

広報



あくね

阿久根特産
あくね
うまいね
自然だね

第564号

編集・発行／阿久根市役所総務課 〒899-16 鹿児島県阿久根市鶴見町200番地



年神様を迎える門松がいっぱい：森林組合竹材加工施設にて

平成6年

正月号

新春を飾る

新年のあいさつ

海と緑を活かした

豊かな活力ある阿久根へ

阿久根市長 新 杉 勝 記

明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと存じますが、さらに、この一年間が素晴らしい年でありますようお願い申しあげ、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

私は、市長就任以来、皆様方の力強いご支援・ご協力に支えられ市政を推進してまいりましたが、新しい年を迎え、市政の円滑な運営及び市勢の発展と市民福祉向上のため最大の努力をいたし、皆様方の負託に応えてまいりたいと存じます。

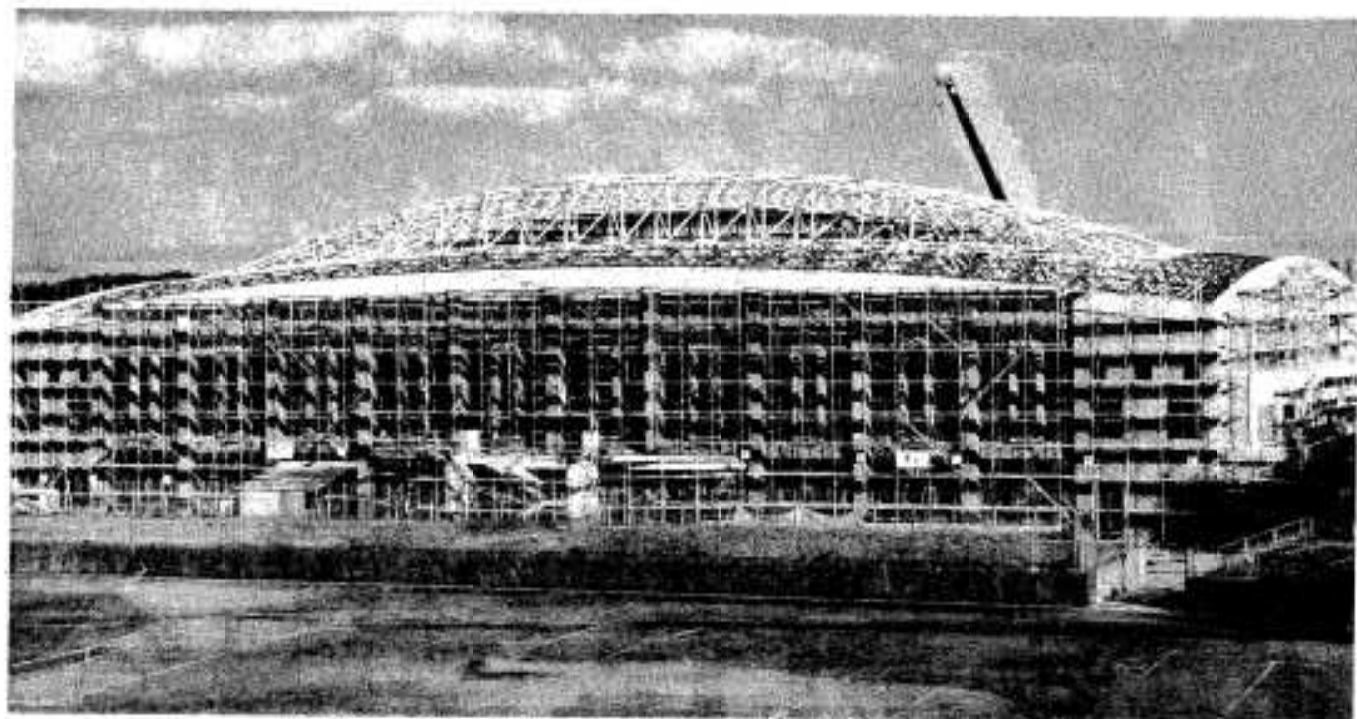
昨年を振り返ってみますと、わが国においては、連立政権が誕生する中で、米の市場開放の問題、バブル経済の崩壊等の影響で経済状況は低迷が続き、加えて長雨や集中豪雨による災害のほか、大型台風の影響で被害が続出し、経済面では非常に難しい年でありました。

このような厳しい財政状況の中で、市政におきましては、国・県当局を始め地元の皆様方のご協力によりまして諸施策を実施して参りました。特に、南九州西回り自動車道の建設促進につきましては、沿線市町で組織する建設促進期成会や両県で関係省庁に陳情を重ねる

その他各種団体等で関係省庁に陳情を重ねる

民一体となった運動の成果として、出水・阿久根間十と川内市内区間の十の基本計画が決定されたところであり、今後は早い時期に整備計画へ昇格し、一日も早く工事着手されるよう、また、残された阿久根・川内区間についても更なる運動の展開が必要であります。

また、空港・鹿児島市への最短距離の県道阿久根東郷線については、県当局を始め、地元関係者のご協力により、トンネル工事を含



屋根部分の骨組みも完成、全形が見えてきた総合体育館。完成は6月末。

め、着々と工事が進展しており、今後更に事業促進を図るため努力して参ります。

更に、第三次阿久根市総合開発計画（三年目）に基づく諸施策につきましましては、昨年より引き続き参ります。西目地区は、阿久根市漁港修築整備事業、阿久根市黒之浜漁港改修事業、番所丘公園整備事業、古里松ヶ根・桐野餅井・中源田山下線改良舗装事業、第五次上水道拡張事業、湯地区区画整理事業、公営住宅建設事業（建て替え）等の整備を推進して参りました。また、単年度事業として、大島公園のセンターハウス新築、阿久根小学校舎改築、折多小屋内運動場改築、総合体育館建設事業、林道上床線開設、大川診療所改築、阿久根（西目）地区構造改善センターへの着手、飛松落・牧内多田線の道路改良事業、鶴川内地区及び田代地区の国土調査事業等にも精力的に取り組んで参りました。また、「アクネ・うまいネ・自然だネ」センター（仮称）建設については、基本構想・基本計画を受けて、設計コンペを実施し、その後各種団体等の意見のとりまとめをいたしているところですが、今後引き続き各関係者の意見を聞きながら充分検討して、阿久根市商工業発展の拠点となるよう建設実施に向けて努力して参りたいと考えております。一方、恵まれた素晴らしい自然を活かした阿久根の観光開発と活性化を図るため、「美しい村づくり特別対策事業」で阿久根漁港周辺及び大島の環境整備に取り組んで参ります。

また、市制施行四十周年事業として始めました「阿久根市人材育成事業」では、昨年中、高校生十名をアメリカカリフォルニア州に派遣しました。これは、国際性豊かな青少年の健全育成とわがまちの活性化に役立てるため実施するもので、今後も継続して参りたいと考えています。

その他、イベント事業としては、既存のイベントは勿論、特色あるイベントの創出にも積極的に取り組んで参りたいと考えています。

次に、平成二年度策定した阿久根市過疎地域活性化計画前期五ヶ年計画も概ね事業の進捗をみていますが、平成六年度が最終年度にあたることから、後期五ヶ年計画を引き続き策定し、諸施策を計画的に進めて参ります。また、老人保健福祉計画の一環として、寝たきり老人等の在宅福祉サービスの充実を図るため、在宅介護支援センターの開設に向けて努力して参りたいと考えております。さらに、火葬場は、これまで狭隘であったため市民の皆様方に大変ご不便をおかけして参りましたが、地元関係者のご理解をいただき、西目の通称仏石の高台に用地を選定し、早期完成を目指します。

その他、これまでの継続事業である湯地区区画整理事業をはじめとする諸事業の早期完成に全力を尽くすとともに、その実現に向け積極的に取り組んで参ります。

そのためには、市民の皆様方のこれまで以上の深いご理解・支援をいたさながら共に力を合わせて阿久根市発展のために頑張る所存であります。

終わりに、市民の皆様方のますますのご健勝・ご繁栄をお祈り申しあげ年頭のごあいさついたします。



各所で大がかりな工事が行われている県道阿久根東郷線。写真は米次区。



小学男子3km。チビっ子たちが元気にスタート。

3600人が阿久根路を快走 フルマラソンを初めて開催

絶好のランニング日和となった十二月十二日、恒例のボンタンロードレース大会が総合運動公園を発着点に盛大に開催されました。

昭和五十九年に始まった同大会も今年で十回目。今回はこれを記念してフルマラソン（四二・一九五km）が実施され三、五、十kmの四コースで健脚が競われました。

九州各県はもとより、千葉県や福井県、遠くはお隣の韓国釜山市から、約三千六百人のジョギング愛好家が集まり、黄色く色着きはじめたボンタン路を駆け抜けました。

ボンタンがたわわに実った沿道には市民や父母らが待ち受け、ランナーに盛んな声援を送っていました。



ボンタンを横に見ながら

第10回記念 ボンタンロード レース大会



みんなで楽しくジョギング



雨天練習場での
特産品フェアも好評



次々にゴールの
陸上競技場へ



手を引かれて
「がんばれ、がんばれ」



フルマラソン女子1位の永田選手

今年初めて行われたフルマラソンには二百九十六名がエントリー。起伏に富んだコースにもかかわらず、男子は花田伸行選手（阿久根市役所）が二時間二十六分四十九秒、女子は永田はるよ選手（鹿児島市）が三時間四分四十八秒と、いずれも好タイムで二位以下を大きく引き離してゴール、優勝を飾りました。

フルマラソン初代優勝者は
男子・花田伸行選手
女子・永田はるよ選手



フルマラソン男子1位の花田選手

第10回ボンタンロードレース大会記録

5 km				3 km			
順位	1 位	2 位	3 位	順位	1 位	2 位	3 位
中学生男子	永田 亮 16分12秒	茶園 朋久 16分33秒	中原 等 16分54秒	小学生男子	下池 正 9分57秒	波留 昌彦 10分09秒	小屋敷裕和 10分12秒
中学生女子	小野あゆみ 24分17秒	跡上 抄子 26分12秒	川崎めぐみ 26分13秒	小学生女子	寺地麻衣子 11分00秒	鶴岡 薫 11分02秒	永田 成美 11分02秒
高校生男子	江島 正和 14分44秒	澤井 漢治 14分56秒	榎元 博昭 15分01秒	中学生男子	上園 圭司 9分06秒	川口 幸平 9分14秒	西原口千弘 9分15秒
高校生女子	武富ゆかり 16分48秒	片淵香奈子 17分23秒	川越 知子 17分25秒	中学生女子	柏木 美幸 10分05秒	巻木亜沙美 10分20秒	春田 栄子 10分44秒
29歳以下	森 正敏 16分59秒	今村 和博 17分08秒	大小田 充 17分44秒	高校生男子	平石 太一郎 8分27秒	岡村 伸也 8分27秒	西岡 拓己 8分35秒
30歳代	吉田 正成 17分40秒	角 裕之 17分48秒	大重 博 17分53秒	高校生女子	小牟礼由紀子 10分06秒	白石 香織 10分06秒	松山 麻弥 10分07秒
40歳代	谷尾 政満 17分51秒	永田 俊 17分52秒	志水 幸一 18分10秒	29歳以下	岩田 勝美 8分40秒	山森 剛 8分59秒	上堀 健一 9分42秒
50歳代	川野千太郎 17分45秒	松永 遼 18分03秒	甲斐 遼夫 18分34秒	30歳代	井島 雅博 9分58秒	郡山 茂 10分00秒	宮本 孝二 10分04秒
60歳代	宮内 義光 18分22秒	藤家 迪雄 19分25秒	坂口 利満 20分03秒	40歳代	外 広雄 9分33秒	重信 秀秋 9分46秒	山口 豊志 9分56秒
女性	篠原 勝子 22分05秒	小川田秀代 22分08秒	杉野 妙子 23分50秒	50歳代	斉藤 憲夫 10分14秒	吉海 弘 10分27秒	新留 宏一 10分28秒
10 km				60歳代	野平 繁 10分32秒	飯田 徳二 11分22秒	的場 重春 13分51秒
順位	1 位	2 位	3 位	女性	飯田 陽子 12分01秒	斉藤とし子 12分03秒	平木 曜子 13分27秒
高校生男子	村上 亮 30分28秒	新名 貴弘 30分31秒	山崎 慎治 30分35秒	フルマラソン (42.195km)			
高校生女子	田中 那奈 39分16秒	赤石 慶子 40分30秒		順位	1 位	2 位	3 位
29歳以下	大林 敏明 31分26秒	甲斐 真一 31分28秒	寺園 隆志 32分12秒	29歳以下	花田 伸行 2時間26分49秒	帯田 隆之 2時間40分21秒	福留 雄二 2時間51分20秒
30歳代	桑代 睦雄 32分40秒	人見 琢也 32分54秒	江川野清志 33分46秒	30歳代	奥平 徳和 2時間36分43秒	福蘭 一丸 2時間40分13秒	柳ヶ水幸治 2時間46分09秒
40歳代	篠原 隆徳 33分16秒	福村 哲郎 36分47秒	宇都 直憲 36分58秒	40歳代	狩峰 輝二 2時間49分38秒	外園 幸一 2時間53分13秒	永田 兼一 2時間57分58秒
50歳代	斉藤 和洋 36分27秒	立石 克己 38分23秒	駒崎 和男 39分04秒	50歳代	真崎 秀文 2時間57分22秒	折口 靖徳 3時間23分54秒	下田代清丸 3時間27分58秒
60歳代	谷本 春男 37分03秒	藤家 重俊 40分29秒	今村 睦男 41分24秒	60歳代	村松 勇 3時間44分59秒	横田 義季 3時間46分41秒	倉本 弘光 4時間02分07秒
女性	田中 真澄 39分43秒	木佐貫裕子 41分24秒	高橋 礼子 46分13秒	女性	永田はるよ 3時間04分48秒	吉村由美子 3時間23分37秒	古賀 里子 3時間23分43秒

第4回 定例市議会

議長に平田修二氏を選出

副議長には 畠中 保氏

平成五年第四回定例市議会は十二月二十四日開会され、会期を一月二十五日までの三日間と決めました。

開会日の二十四日には審議に先立ち、議長及び副議長の選挙が行われ、その結果、議長に平田修二氏(55)が、副議長には畠中保氏(67)が選ばれました。

また、各常任委員や北薩広域行政事務組合議員、阿久根地区消防組合議会議員などの選任が行われ、次のとおり決定しました。

就任のあいさつ

議会の活性化を第一指針に
市民が納得できる議会運営を

阿久根市議会議長 平田 修二



去る十二月二十四日の第四回本市定例市議会におきまして、再び第二十二代阿久根市議会議長に選任されました。もとより、浅学非才の身ではございますが、お受け致しましたからには公正無私の立場を堅持しながら誠心誠意、市民の皆様方に納得していただける、しかも議会の活性化を第一指針とした議会運営に微力ではございますが着実に努力を重ねて参りたいと存じます。

何卒、市民皆様方のご協力ご理解を賜りますようお願い致します。現在、国の内外を問わず、非常に厳しい時ではございますが、このような時こそ市民が一体となり、一つの和をもって努力をしなければならぬと思います。ご承知のとおり本市の財政基盤は極めて脆弱であります。今しばらくのご辛抱をいただき、市民所得の向上はどうすれば成り立っていくのかを市長部局に訴えながら、同時に福祉の向上推進に先輩同僚各位のご指導ご協力をいただき、努力する事をお約束致しまして、議長就任の挨拶とさせていただきます。

委員会等の構成

◆総務委員会(八人) ※敬称略

委員長 田上 正
副委員長 濱之上 大成
委員 横井 幸雄 徳田 佳文
日笠山光一 新坂 泰典
若松 富春 畠中 保

◆産業建設委員会(八人)

委員長 中村 毅
副委員長 鶴岡 辰男
委員 京田 道弘 福永 寛治
浜崎 重雄 平田 一男
大尾 連 迫口 保雄

◆文教厚生委員会(八人)

委員長 馬見新 勝
副委員長 西田 孝義
委員 文庫生 委員(八人)

◆議会運営委員会(九人)

委員長 山田 勝
副委員長 西田 孝義
委員 寺地 世界 迫 庄吉
谷口 繁 西田己之助
山田 勝 平田 修二

◆北薩広域行政事務組合議会議員

鶴岡 辰男 日笠山光一
寺地 世界

◆阿久根地区消防組合議会議員

迫 庄吉 徳田 佳文
横井 幸雄 京田 道弘

◆議会選出監査委員

迫口 保雄

第6回 出水地区
学校給食展
—「学校給食は、今」—

広く「学校給食」の重要性について理解してもらうと共に、日頃の食生活の改善や見直しにも役立ててもらおうと開催するものです。

◇日時 1月22日(土) 10:00~16:30

1月23日(日) 10:00~16:00

◇場所 出水郵便局コミュニティルーム
(だいかショッピングデパート前)

◇主催 出水地区学校給食研究協議会

◇展示内容

- 学校給食について(目的、内容、歴史など)
- 子供たちの楽しい食生活について
- 郷土料理について

その他、給食の実物展示や試食コーナーもあります。ご来場をお待ちしています。





国際家族年のシンボルマーク

いま、“家族”を 1994年は「国際家族年」 見つめ直してみませんか

国における国際家族年の取り組み

国際家族年のために、18省庁からなる関係省庁連絡会議を設置。ここでは、主な省庁における関係事業を紹介します。

総理府	男女共同参画推進事業など
文部省	家庭教育に関する調査など
厚生省	少子化問題対策など
農水省	農村女性活動促進事業など
労働省	仕事と育児の両立についてなど

家族構成が変化するとともに、その機能が低下するという現象が世界規模で起きています。そこで国連では、「家族からはじまる小さなデモクラシー」をスローガンに、家族問題への関心を高めようと、今年を「国際家族年」に決めました。これを受けて、国でも家族問題に関するさまざまな対策を講じます。

ところで、なぜいま「家族」なのでしょう。それは、家族構成の変化や機能の低下が、社会に影響を及ぼすからです。家族は社会の最少単位。家族の問題は、社会全体の問題なのです。

核家族化が進んだと 騒がれているけれど

◎家族構成の変化といえば、真っ先に核家族化を連想しますが、真そうすね。しかし、そう騒がれるほどではありません。国勢調査によると、大正九年で核家族世帯は全世帯の五四%を占めていましたし、ピークの昭和五十五年でも六〇・三%。それから減少し、平成二年では五九・五%となっています。

◎では、家族構成が変化したというとはいえないのですか。傾向はあります。三世帯で暮らしている親族世帯が減少していること、反対に単独世帯、つ

家族構成は 変わったか



家族構成の変化——一般には、核家族が増加したなどと言われていますが、実際はどうなのでしょう。厚生省人口問題研究所の所長を務め、現在は流通経済大学で社会学を教える清水浩昭教授にお話を伺いました。

まり、学生の一人暮らしなどが増えていることなどです。核家族化の問題よりも、むしろこの二つの問題を取り上げるべきでしょう。

家族構成には 地域によって差がある

◎そのほか、家族構成に関して、何か傾向はありますか。

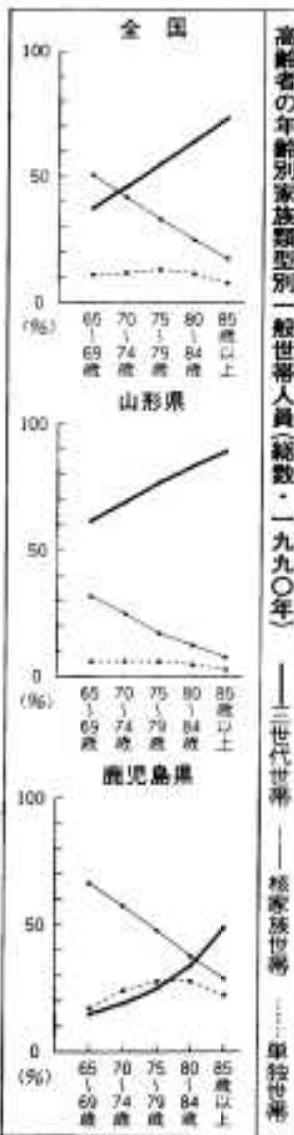
果別に、お年寄りの世帯を年齢で追ってみると、地域性があることが分かりました（グラフ参照）。全国平均と、山形県と鹿児島県を例に挙げてみました。年齢が高くなるにつれて、核家族世帯が減り、三世帯世帯が増えてくるというパターンはどれ

も共通しています。

◎つまり、老夫婦が元氣なうちには別居、何かあったら同居というパターンですね。

ええ、しかし、山形県では三世帯世帯の割合が多く、逆に鹿児島県では核家族世帯が多いのが一目で分かります。子どもが結婚したら同居するのが自然と考えるか、別居するのが自然と考えるか、風土の差でしょうね。

ちなみに、山形県のパターンは東北・北陸に、鹿児島県のパターンは高知県、宮崎県などにみられます。あとは全国平均と似たパターン。ですから、家族構成にまつわる問題は、地域差を考慮する必要がありますね。



もって知って！郷土の文化財

文化財整備五ヶ年計画スタート

人の心から忘れられ、消え去ろうとしている文化財を保護し、次の世代に伝えていこうと本年度から文化財整備五ヶ年計画がスタートしました。

これは、現在市内に三百二十カ所ある文化財のうち、ほおっておけば忘れ去られ、消滅してしまう恐れのある約半数の文化財について標柱や説明板を設置し、市民の皆さんへその貴重性を広く知ってもらおうという

事業一年目の本年度は、波留区の蓮華寺跡や鶴川内の桑原城跡などを始め、標柱十カ所、案内板十二カ所、説明板五カ所、歌碑が一カ所に設置されました。

この内、歌碑については戸柱の護国神社前に設置。光徳の光る心を人とはば神のみたまと吾はこたえん」の八田知紀の歌が自然石に刻みこまれ、後方には光徳と大島が望めるようになっています。様々な言い伝えが残る光徳は、多くの俳人が歌を詠んでおり今後、与謝野鉄幹や樺山資雄の歌碑も設置される計画です。

社会教育課では、観光面などへの活用も考えながら平成九年までに史跡や仏像仏画、記念碑、墓石、供養塔など、標柱を百五十八カ所、案内板を百カ所、説明板を八十カ所に設置する計画です。



戸柱に設置された八田知紀の歌碑

時代にも埋もれ忘れ去られようとしている文化財が皆さんの周りにあるはずですよ。標柱や案内板を見つけたら、郷土の歴史を振り返ってみてください。

コンピュータの活用で楽しく、わかりやすく

鶴川内中で公開授業

鶴川内中学校で十一月三十日、コンピュータの高度利用による楽しい公開授業が開かれました。

同校は昭和六十一年に十八台のコンピュータを導入。平成四年度に文部省の「機器利用研究校」の指定を受け、コンピュータの機能をさらに活用して、生徒に分かりやすく、そして授業に楽しく臨んでもらうための指導方法等について研究を重ねてきました。

公開授業には県内外から教職員や関係者ら約百七十人が出席。英語の授業では、コンピュータを使って英作文の個別添削や発音の指導、家庭科では栄養バランスを画面に出しながら材料の種類や量を決めて献立を作った。



コンピュータを使っている公開授業

たり、また音楽ではコンピュータから出される音を参考に各パートで練習をし、最後に全員で

合唱をしてハーモニーを奏でるなどの授業が行われました。その外、自分が将来なりたい職業をコンピュータを使って探すなど、コンピュータの機能を随所に取り入れた、楽しい授業が展開され、参加者も画期的な指導方法に熱心に見入っていました。

「イワシのふるさと便」

受付は1/20(木)～2/10(木)

◆お申し込みは

「阿久根のイワシを送る会事務局」まで

☎ (0996) 73-4455

℡ (0996) 73-4486

◆受付時間

午前8時30分～午後5時

(土・日・祭日はFAXのみ受付)

◆イワシ 1箱 4kg

◆料金 九州管内(沖縄を除く) 1,200円

その他全国 1,700円

◆発送 平成6年1月下旬～2月下旬

天候の関係で発送が少し遅れることがありますのでご了承ください。

今度は「イワシ」で事故防止

特産PR兼ね巨大広告塔設置

阿久根署

阿久根警察署前に十二月十四日、交通事故防止を呼びかける巨大な「イワシ」広告塔が設置されました。十六日から始まった年末年始特別警戒に合わせ同署が設置したもので、国道3号をゆくドライバーらに安全運転を訴えています。

看板は、昨年の「巨大ボンタン」につづくシリーズ第二弾。交通安全と同時に地域の特産品をPRしたものです。

広告塔は高さ五メートル。デザインは今秋、同署が募集し、百

五十点の応募作品の中から最優秀作品に選ばれた長島町指江の主婦緒方弘子さん(51)の作品。直径三・六メートル、タイヤに見立てた円内の上下部分に、発泡スチロールで作られた約三メートルの巨大イワシが二匹泳いでおり、中心には「交通安全」の四文字があらわされています。タイヤは輪軸を無くする意味、その中の青い海にイワシが泳いでいる様は、健康で安全な社会づくりへの願いが込められています。

塔の下には、同じく募集の結



警察署前に設置された交通安全の広告塔

果、百六十六点の中から最優秀賞に輝いた市内赤瀬川の公務員浜辺孝範さん(52)の標語「阿久根路は、新鮮なイワシと親切運転」も掲げられています。現場では関係者約二十名が出席してテープカットなどが行われ、優秀賞を獲得した方々に表彰状などが贈られました。

その他の受賞者は次のとおり。
○デザイン部門 表彰略
○優秀作品 野村はな(阿久根小5年) 野村力(同小3年)

◇標語部門
交通関係
○優秀作品
上野多恵子(東町)
○佳作
日渡俊夫(大川中教諭) 岩崎俊二郎(大川中3年)

防犯関係
○最優秀作品
平野智美(阿久根小5年)
○優秀作品
横山忠義(黒之上)

「かめさんりレー」で事故防止訴える

年末年始交通安全PR

年末年始の交通事故防止運動が十二月二十二日から始まり、その運動の一環として「かめさんりレー」が二十四日、本市に到着しました。

これは、交通安全のシンボルである亀の置物を県内の市町村でリレーし、県民に事故防止運動について広く訴えようというもの。昨年から実施され、今年は県内を八コースに分けてリレーされました。

本市には宮之城町、出水市を経て到着。市役所前で行われた引き継ぎ式には、警察、交通安全協会、各種団体等約百十人が

参加し、川畑文平助役が、出水市から運ばれて来た亀の置物と知事の交通安全メッセージを引き受けました。

今年の運動のスローガンは「交通安全は ゆとり ゆっくり ゆずりあい」。

かめさんりレーのように、ゆつくりと余裕をもった運転を訴えています。式ではこの後、事故のない住みよい町づくりをめざし、たゆまぬ事故防止活動を展開しますと、交通安全宣言文が読み上げられました。



市役所前での「かめさん」引き継ぎ式

特定標準価格米について

平成六年度年度の十一月(一)期の標準価格米については、全国的な水稲の作柄の不良により、政府米の出回り量が減少したことから、政府米のほか特例的に自主流通米を原料とする「特定標準価格米」を設置することになりました。本県では「特定標準価格米」の原料構成を政府米三十、自主流通米二一三類と定め、小売指導価格については食糧庁長官から指示のあった四千五百七十円としました。

アルバム



031211 内線 1214



たくさんのトロフィーや賞状に囲まれる野崎さん

県肉畜共進会

農林水産大臣賞に

野崎清浩さん (折口東)

鹿兒島県肉畜共進会(県経済農協連主催)が十二月八日、日置郡伊集院町の鹿兒島中央家畜市場で開催され、本市折口東区の野崎清浩さん(33)の「次郎号」が見事、グランドチャンピ

オン、農林水産大臣賞に輝きました。野崎さんは「これまで二席どまりだっただけに、念願がなつてうれしい」と、長年の目標達成を喜んでいました。

共進会には県内十地区の予選を勝ち抜いた雌三十八頭、去勢四十三頭が出場。県畜産試験場職員らが脂の付き具合、体の張りなどを厳しく審査しました。

その結果、体重七百五十斤、体高百三十七センチ、胸囲二百四十センチの「次郎号」が体積や肥育進度も申し分なく、仕上りの状態の良さ等高く評価され去勢の部で一席となるとともに、グランドチャンピオン、農林水産大臣賞を獲得しました。

野崎さんは本大会へは今回が七回目の出品。過去には去勢の部で二回、雌の部で二回、いずれも二席に甘んじていました。

次郎号は生後一年程で個別飼いを始め、健康管理等に万全を期してきた牛。今回、出水郡の大会で優勝していたので、上位には食い込むだろうと予想はしていたものの「やはり一席と二席ではその価値が全然ちがう」

と初の受賞に胸をはずませます。野崎さんの育てる牛は、昭和六十三年と平成四年に大阪で開かれた、枝肉共励会(全国農業協同組合主催)において農林水産大臣賞を獲得、肉質の面では既に最高級品であることが証明されています。今回の受賞は生体においても高い評価を得たことになり、牛の肥育技術全般

新農村振興大会

優秀賞に三笠北部地区農業農村コンクール

第一回鹿兒島県新農村振興大会が十一月二十九日、鹿兒島市の市民文化ホールで開かれ、地域農業のしくみづくり部門において、本市の三笠北部地区が農業農村コンクール優秀賞に輝きました。

新農村振興運動は①活力ある担い手づくり②地域農業のしくみづくり③美しい潤いのあるむらづくりを目標に、話し合いによる合意形成活動を通じ、農業の振興と農村地域の活性化を図るものです。今回は、三笠北部地区の集落ぐるみでの営農体制づくりが高く評価されました。

同地区は、大瀬、小瀬の二集落、農家戸数六十五戸で構成。農地が狭隘で、傾斜地が

にわたりトップレベルにあることが実証されました。野崎さんは、牛肉の輸入自由化等の厳しい経営環境の下、「これからは牛を単に育てるだけでなく、PRをしながら売り込む努力も必要。時代に合ったおいしい肉をつくっていきたい」と今後の豊富を語っていました。

多くの、またほ場が未整備な所も残されており、農業には不利な



三笠北部地区村づくり委員会の皆さん

ものの、収益性の高い農業が展開され、担い手の育成や、高齢農家も含めた地域営農のしくみづくりが確立されつつあります。同地区のメンバーらは、今回の受賞を契機に、今後、高齢化や兼業化に対応した地域農業の確立を目指しながら、さらに地域の特性を生かした生産性の高い農業を展開していくことを誓っていました。

歴史スポット 英称記行 ⑧

文旦のルーツを訪ねて

その3

沙建村を後にして、来た道を九龍江に沿って廈門市に引き返しました。文旦は沙建村の他華安県には中国有名品種といわれる六〇〇年の歴史をもつ坪山柚の原産地坪山もあるのですが、沿道から離れているということで行けませんでした。

沙建村から車で揺れること一時間で漳州街に着いたので昼食をとることにしました。付近には官公庁が建ち並ぶ中心街にある大きな漳州大酒店（レストラン）に案内されました。ロビーには壁いっぱい中国独特な絵があつて隣の部屋は売店で中国土産が展示してありましたが、正午もすぎたのでトイレから直接二階のレストランへ上がりました。

漳州市郊外の長泰には長泰文旦柚が生産され廈門経由で上海杭州へ販売されるので、廈門文

旦柚とも言われます。せっかく近くまで来ていて坪山も長泰も現地に行けなかったのは心残りでしたが、一日の日程では広い地域のことで何か所も廻るのは無理だという案内人の言うとおりに行動するより仕方はありませんでした。

食事をしながら思うことでしたが、河南省から漳州を経て廈門港から台湾・琉球・日本の阿久根へと渡航した葉菜菜（初代河南源兵衛）のロードも阿久根文旦のロードも沙建・坪山・長泰文旦などが同じロードで阿久根に運ばれたのではないかと思うところのロードはまだまだ阿久根と

は他にもつながりがあるのではないかと、初めて訪れたこの地に愛着を感じました。

午後二時漳州を後にして一時間二十分して着いたところが杏林科学技術委員会でした。日本では果実試験場とでもいうところでしょう。八年前に植えたという瑤溪柚が大きな実を付けていました。竹で支えをしてホースで樹全体に水かけをしていましたので水々しく葉も実も艶が出て文旦園全体が若木でもあって燃え立っている感じでした。

（次号に続く）



杏林科学技術委員会にて

阿久根短歌会

足らざるもの無しとは言へず老いわれの暖まりをり冬の日だまり
 脇本 宮原 範子
 老いづけば体調よきとき障子貼
 り師走のひと日綴りてこもる
 新町 遠矢 律

落葉焚くにほひ漂ふ路地裏を石
 焼芋の車が通る
 大丸 橋崎 幸
 屋根近くしぶきを上げて寄る波
 を夢に見て覚む渚なき今も
 琴平 川畑 スミ

岩湯にて足をのばせば体軽し石
 を枕に千切れ雲見る
 赤瀬川 築瀬 紀夫

本に頼り娘のつくる菜うましわ
 れは昔の範囲を出でず
 脇本 赤崎 タエ
 父母の喪中とふ葉書多くありか
 かる齢を思ふこの暮れ
 竹下百合子

浅間嶺の山頂がすめ早き雲うつ
 る東の閑山驛見ゆる
 上野 河南誠一郎

ときとよの寒暑に備へ生くるべ
 く老も病も欺くことなし
 赤瀬川 海平 三蔵

ロープウェイに頭近く見下ろせ
 ば視界けふりて筑波見えざり
 本町 河南 節

タコあげは
 電線のないところで

タコあげのシーズンです。
 電線の近くでは、タコを絶対にあげないようにしましょう。
 もしタコが電線にかかったら、危険ですから自分できず、最寄りの当社営業所へご連絡ください。

●電柱にのぼって取るのはやめましょう。
 ●電線を竹ざおなどでつつくのは大変危険です。



相談

▽年金（市役所）

1月20日（木）10時～16時
 2月18日（金）

▽税金（商工会議所）

1月20日（木）10時～15時
 2月21日（月）

▽交通事故（市役所）

2月10日（木）9時半～15時半
 3月10日（木）



吉田 ユ ミさん(23) 牟田区

友だちの輪 80

NEC鹿児島で検査課に所属。休みの日は友だちとおコタの中で、ミカン傍らにお茶を飲みながら、世間話に花を咲かせる今日この頃です。

若いうちにいろんな所に行き、見て、経験して、感性豊かな女性になりたい。

- 趣味 音楽鑑賞、ショッピング
- 性格 楽天的で、見た目より元氣印の女の子
- 理想のタイプ 自分を持っていて、個性的な人
一生懸命生きている人
- 将来の夢 北海道に行き、大自然と本場の味に
埋もれてみたい!

※次の友だちを紹介してください。

ハイ、次は鶴野下区の大川内美香さんです。

図書館だより

郷土の方言誌 「阿久根のことば」

好評発売中

「おや、いつも使ことつで、そげんた見らんでよか。」と言われる方も、まだまだ知らない言葉や言い回しがいっぱいあります。地区によっても少しずつ違うみたい。ご自分のものとして、また故郷を離れている家族・友人、阿久根にゆかりの知人などへのプレゼントにもどうぞ。

一冊 千五百円・送料三八〇円
市立図書館(☎72・0607)
三笠支所(☎75・0002)

新しい月刊雑誌紹介

「J・J」旅「きょうの健康」の三誌が新しく月刊誌として仲間入りしました。

他の月刊誌と同様、借りたい

大川出張所(☎74・0001)でお買い求めください。

この他に、丹宗律光植物園集

(一セット十二巻・三万円)と

阿久根市誌 (三千五百円)

阿久根の地名 (千円)

阿久根の文化財(二千五百円)

阿久根のむかし(二万円)

もありです。(各一冊の価格)

送料はそれぞれ違いますので

お問い合わせください。

今月の新書図書

人が多いため、貸出は翌月号が入るまではできませんので館内でごらんください。一ヶ月を過ぎたものは十日間借りられます。古い号も棚の中にありますのでご利用ください。

- ▼エルヴェ・ギベール「赤い帽子の男」▼西嶋公「あたたか地域介護を求めて」▼川崎健「海の環境学」▼大前研一「大前研一レポート」▼谷本陽蔵「お茶のある暮らし」▼志村ふくみ「語りかける花」▼澤田ふじ子「拷問蔵」▼杉本苑子「小鳥の食卓」▼士門剛「コメ開放決断の日」▼満田久輝「米、再考」▼酒井玲子「四季折々の漬けもの」▼紫田元幸・斎藤英治「世界の肌ざわり」▼ジョエル・クルツマン「デス・オブ・マナー」▼松尾敏男「花を描く」▼出久根達郎「人さすの迷惑」▼北村洪史「ファミリー」▼平義克己「フリーズ」▼今井滋「ブラックマンデー2」▼赤川次郎「ふしぎな名画座」▼光瀬龍「闇市の蜃気楼」▼パトリック・オブライアン「激闘ノ地中海」



えっ ホントク

「邪馬台国」

実は阿久根だった!

「魏志倭人伝」に記され、女王卑弥呼が治めていたと伝えられる邪馬台国。その位置については、今まで多くの論説が戦わされてきています。

そんな中、邪馬台国は、実は阿久根市にあったという本が発刊されています。「誤読だらけの邪馬台国」という本がそれ。著者は、中国古文の解説が専門という張明澄(ちやうめい)氏。

台湾出身の著者は、魏志倭人伝を語学的に忠実に読んでいけば、邪馬台国の中心はこの阿久根市になると主張。本では、これまでの説は日本人が日本人的に魏志倭人伝を解説・理解しており、それを正す内容となっています。

「その昔、阿久根が日本の歴史の中心だった!」そんな口マンあふれる本を一読してみるのもおもしろいかも……。

※郷土資料館では、この論説についての勉強会を予定しています。興味のある方は同館(☎72・0607 草原)まで。

誕生

おめでとう



12月20日届け出分まで※敬称略
出生児 保護者(区名)

森 俊介(清文(牧内))
吉野 綾政(遠矢)
牛ノ濱知恵 浩一(牛之浜)

新戸 百恵 幸弘(飛松)
大瀧恵里香 敏男(上原)
嶋田 寿郎 隆(新町)
新戸加奈子 明仁(濁)
橋元 真由 修(牧内)
飛松 奈帆 太(牧内)
赤 翔平 宗敦(陳之尾)
中西 勝輝 国義(高松)
東園 智之 善文(大丸)
尾塚 竜馬 竜也(波留)
下田代一航 秀人(中村)

感謝の気持ち込め、葉牡丹プレゼント

「愛和園」

「日ごろお世話になっている皆さんへ、少しでも感謝の気持ちを形にできたら」と、今年も大きな「葉牡丹」が市役所などへ届けられました。身障者療護施設「愛和園」の園生らが八月に種をまき育てていたもので、三年前から園の関係機関などへプレゼントをしています。

十一月の健康と福祉のつどいにも出品・即売され、好評を得た大きな葉牡丹は、今年は五種類約二千本が育ったということです。感謝の気持ちを込め、市役所のほか警察署や地域の皆さんへも配布されました。



社協だより

次の方々から市社会福祉協議会に香典返し等の寄付がありました。ありがとうございます。

12月24日分まで ※敬称略

白肌スズエ(弓木野) 児玉義弘(上桑) 牛之浜恵(牛之浜)
大田清富(尻無上) 黒崎砂夫(中村) 花田正喜(中村) 川畑春義(的場) 宮原貢(川畑中)
※歳末たすけあいへの篤志寄付
阿久根駅前通り会 阿久根シヨピングセンターバル 東園靖子 国際ソロブチミスト出水

給油所の日曜当番店

○1月16日

阿久根石油(堀江) 750389
築瀬石油(赤瀬川) 721093
南国産産(鶴見町) 720362
上脇石油(大曲) 731771
○1月23日
マルハ商事(堀江) 750688
池上石油(新町) 720807
マルハ商事(濁) 721555
JA阿久根(波留) 720075
○1月30日
寺下石油(橋之西) 752077
JA阿久根(折口) 751302
丸善商事(新町) 720266
松永石油(牛之浜) 741342

こめいふくを
お祈りします

12月22日届け出分まで※敬称略

死亡者年齢(区名)

増田 正盛64(一段) チヨノ
中津濱常吉75(一段) ミツ
野村ハルエ75(大丸) 正吉
高倉 寅松62(浜) テルミ
児玉 ミネ78(新町) 義弘
海平ツルマツ90(上野) 喜代加
下園シラノ96(尻無上) 大田清富
黒崎 獎85(中村) 砂夫
若松 エミ69(尻無上) 牧野明美
大田 盛蔵92(尻無上) 盛幸
牛之浜サエ77(牛之浜) 恵

○2月6日

落合石油(上原) 750055
折口石油(折口) 730251
阿久根石油(港町) 732430
田中石油(大川) 740039
○2月13日
阿久根石油(堀江) 750389
丸上石油(赤瀬川) 720657
阿久根石油(鶴見町) 720318
高原石油(長谷) 733588
○2月20日
マルハ商事(堀江) 750688
築瀬石油(赤瀬川) 721093
南国産産(鶴見町) 720362
上脇石油(大曲) 731771

篤志寄付

広報紙送付のお礼として、出水市の西村栄成さん、福岡県大牟田市の大瀧恭一さんから寄付をいただきました。ありがとうございました。



キキョウ



平成5年度
読書感想文
コンクール

市長賞に

新町陽平くん
(阿久根小)
福浦ひとみさん
(三笠中)

平成5年度読書感想文コンクールの入賞者が次のとおり決定しました。

市長賞 新町陽平(阿小) 福浦ひとみ(三笠中)

市議会議員賞 かしやえあや子(脇本小) 春田栄子(阿中)

教育長賞 山口典子(田代小) 野田麻里絵(脇本小) 大田真

美(阿中)

図書館長賞 花田安寿香(西目小) 白はだけん四郎(尾崎小)

特選

ながたゆうさく(鶴小) かみの田ゆき(大川小) はらみゆう(阿小) こがゆい(脇本小) 園川あきひと(脇本小) ひらたま

いな(鶴小) くぼゆうき(山下小) 川畑健太(大川小) やな瀬ひろみ(田代小) 園田明美(鶴小) 西村清美(山下小) かみのたゆか(阿小) 盛永あゆみ(尾崎小) 小田茜(折多小) 寺地宗章(大川小) やな瀬優子(田代小) 福永佳美(鶴小) 岩崎友美(阿小) 加納由香(尾崎小) 伊田直子(山下小) 窪田茜(阿小) 折口勝也(折多小) 寺地由利香(大川小) 田原ゆみ子(田代小) 中島舞子(三笠中) 福田明代(阿中) 牛ノ濱美由紀(大川中) 芝越ふき子(鶴中) 半穂志穂美(大川中) 佐湯美穂(鶴中)

○1月15日(成人の日) 阿久根内科医院 0578 (新町)

○1月16日 植村整形外科 01041 (段)

○1月23日 脇本病院 2121 (鶴之西)

○1月30日 有村産婦人科内科 4180 (上野)

○2月6日 上野医院 1055 (本町)

○2月6日 内山病院 1551 (高松)

○2月11日(建国記念日) 黒木医院 0200 (下村)

在宅医さん

喜多医院 0038 (大丸)
○2月13日 門松医院 0553 (鶴見町)
○2月20日 北園医院 0016 (本町)
※救急の場合、市民病院はいつでも対応します。

ワくちゃんひきとり

○1月25日
○2月1日・10日・22日
10時から10時30分まで
出水保健所から保健センターに
ひきとりになります。

農地取得は
許可が必要

マ：農地を農地として利用する場合、農地の取得、使用貸借権等は、農地法第三条によつて農業委員会又は知事の許可が必要で、農地法では「農地は耕作者みずから所有することが最も適当であると認め耕作者の取得を促進し」と規定し、耕作者以外の農地取得を制限しています。

次のような場合は農地取得が制限されます。

①小作地を小作農等以外の者が取得する場合。

②取得後、耕作を行うと認められない場合。

③取得後、農作業に常時従事すると認められない場合。

④取得後、下限面積(阿久根市の場合は四十アール)に達しない場合。

農地のミニ知識①

⑤通作距離等からみて土地の効率的利用ができないと認められる場合。――などです。

マ：農地法の許可が必要であるのに農地法の許可を受けないで農地の売買契約を締結しても、所有権移転の登記ができません。

耕作者以外の農地取得を制限し、耕作者の地位の安定と農業生産力の増進を図るという農地法の目的によるものです。

消費生活講座⑨

仕事を始める前に
お金のかかるものには、気をつけて！
――内職商法――

「趣味と実益を兼ねて高収入」等と条件の良い内職を、ダイレクトメール等で勧誘し、内職希望者を集め、材料や機械を買わせます。購入者が材料や機械を使って仕事をして、仕上がり具合を問題に業者が買い取りを拒否し、結局購入者は収入を得ることができず、損をすることになります。

このような内職の被害にあわないために、内職の契約内容を十分に確かめ、内職を発注する会社の経歴、信用状態などに注意してください。

困ったな？ おかしいな？ と思ったらすぐに、市役所商工観光課の消費生活相談員までご連絡ください。(☎73-1211 内線1111)



健康セミナー開催

～ 肝臓病・大腸がん・乳がん ～

正しい知識で健康づくりと健康増進をはかるため、下記のとおり健康セミナーを開催します。市民の皆さんの多数の参加をお待ちしています。

内 容	期 日・場 所	講 師
肝臓病のおはなし	1月30日(日) 大川地区公民館	鹿大第2内科教授 有馬 勝 先生
大腸がんの最新の 診 断 と 治 療	3月6日(日) 脇本地区公民館	高野病院理事長 高野 正博 先生
乳がんの予防と 早 期 発 見	3月27日(日) 働く婦人の家	相良病院理事長 相良 吉勝 先生

※時間はいずれも14時～15時30分です。
※詳しいこと、お問い合わせは保健センターまで。
(☎73-3768)

工業統計調査にご協力を!

統計以外には使いません

昨年の十二月三十一日現在で工業統計調査が実施されます。

この調査は、製造業を営むすべての事業所の製造活動を明らかにすることを目的とするもので調査の結果は国や県の都市計画や景気対策などの基礎資料として幅広く利用されます。

計以外の目的に使用されることは絶対にありません。後日調査員が該当事業所を訪問しますのでご協力をお願いします。

ありのままを記入のうえ、指定の期日までに工業統計調査員にご提出してください。

詳しくは、市役所企画課まで。
☎73-1211 内線1232

児童館入館

申し込み

1月20日～31日

平成六年度の児童館の入館申請の受け付けを次のとおり行います。

なお、すでに入館されている方も再度申請してください。

▼受付期間

1月20日(木)～31日(月)まで

▼受付場所 各児童館

入館申請書は各児童館に準備してあります。

地籍図及び

地籍簿案の閲覧

1月12日～31日

平成四年度地籍調査実施地区の地籍図及び地籍簿案作成が完了しました。該当する土地について期間内に必ず閲覧されるようお願いいたします。

▼対象地名

下ツツラ尾・上ツツラ尾・

白肌・飯田迫・棚掛・佐敷・

治次郎・大平・竹ノ平・

陣屋ヶ迫・曲目(計11字)

▼期間

1月12日(木)～31日(月)

▼場所

弓本野公民館(12日～22日)

尾崎公民館(23日～31日)

▼時間

午前9時～午後5時

▼持参するもの

印鑑及び自分の所有する土地台帳の資料

※この期間以外には、閲覧及び異議の申し立てはできません。

お問い合わせは、市役所土地改良課国土調査係(☎73-1211 内線1162)まで。

建設工事入札参加資格 審査申請書の受け付け

2月1日～28日

平成六年度の市の入札参加資格審査申請書を次のとおり受け付けます。

▼受付期間

2月1日(火)～28日(月)

▼受付場所

市財政課(水道工事関係は水道課にも申請書提出)

▼提出するもの

①建設工事入札参加資格審査申請書(様式一)

②その年の申し出に係る建設業法施工規則第十八条に規定する経営事項審査申請書の写し

③建設業許可(変更)申請書の写し(添付書類を含む)

④主要機械器具明細書

⑤事業所と代表者の市税納税証

明書、身分証明書、主要取引金融機関名

なお、測量・建設コンサルタント業者等の申請にあつては、建設省の統一様式としますが、市税納税証明書は必ず提出してください。

詳しくは市役所財政課管財係まで。(☎73-1211 内線1222)

人 口

1月1日現在()内は前月比	
人 口	28,144人 (-16)
男	13,080人 (-8)
女	15,064人 (-8)
世帯数	10,441戸 (-12)
出生	21人
死亡	27人
転入	51人
転出	61人

編集後記

明けましておめでとうござい
ます。今年も各自の目標達成に
向け、元気に頑張りました。
▽今年の干支は戌。実は私、幼
い頃、犬にかまれた経験から、
今でもかわいい子犬であろうと
すぐには近寄れません。そろそ
ろ慣れなければと思っはいる
のですが、▽広報報は、月末の
原稿締め切り前は時間との戦
い。今年も編集作業については、
あきらめることなく犬の様に食
らいつき、楽しい紙面づくりを
したいと考えます。

(真)